



2023 Asian Rowing Junior & U-23 Championships  
2023 Asian Rowing Masters Championships 参加報告書

国際審判員（東京）成田泰久  
国際審判員（神奈川）隈元幸治  
国際審判員（東京）山崎佳奈子

## 1. はじめに

本大会は、コロナ禍において中止となった大会にエントリーされていた審判員が本大会の審判員として派遣され、審判業務を行いました。

12月のタイは、1年の中でも比較的、過ごしやすい季節ですが、今年は想像以上の暑さで日本から着ていた冬服は、現地到着後、すぐに着替え、真夏の服装での活動、審判業務となりました。

幸い大会期間中に降雨はなかったものの、特に日中は日差しも厳しくなるため、午前のレース後は、長めの昼休みをはさみ、午後のレースが実施されました。

## 2. 大会概要

### (1) 大会名

2023 Asian Rowing Junior & U-23 Championships  
2023 Asian Rowing Masters Championships

### (2) 開催地

The Royal Thai Navy Rowing Training Center 2000M  
(Pattaya Rayong , Thailand)

### (3) 期間

2023年12月14日～17日

### (4) 種目

Junior Men : JM1x, JM2x, JM2-, JM4-, JM4x

Junior Women : JW1x, JW2x, JW2-, JW4-, JW4x

U23 Men : BM1x, BM2x, BM2-, BM4-, BM4x  
BLM1x, BLM2x, BLM2-, BLM4x

U23 Women : BW1x, BW2x, BW2-, BW4-, BW4x,  
BLW1x, BLW2x, BLW2-, BLW4x

Masters Men : 1x, 2x, 2-, 4-, 4x (Any Ages Categories)

Masters Women: 1x, 2x, 2-, 4-, 4x (Any Ages Categories)

### (5) 参加国



VIE, CHN, IRI, UZB, TPE, KAZ, HKG, JPN, THA, KOR, PHI, INA,  
KSA, KUW, MAS, SRI, UAE (以上17カ国)

(6) 動画配信 (You Tube)

[https://www.youtube.com/live/naWGGT\\_Thdk?si=DEWyd1RyXNxsKs4Z](https://www.youtube.com/live/naWGGT_Thdk?si=DEWyd1RyXNxsKs4Z)

[https://www.youtube.com/live/gvEfT\\_1BHuY?si=oeKfh6nAzIhDB3GQ](https://www.youtube.com/live/gvEfT_1BHuY?si=oeKfh6nAzIhDB3GQ)

3. 日本選手の成績

・ **JM4x** : 総合 2 位 (出漕 8 クルー)

B 白石健人(今治西高)、2 永坂日鼓(下諏訪向陽高)、3 佐々木静基(米子工業高)、  
S 岡本風哉(美方高)

・ **JW4x** : 総合 2 位 (出漕 7 クルー)

B 兼松万綸(加茂高)、2 木部結月(館林女子高)、3 岩本結愛(美方高)、  
S 武田望花(美方高)

・ **JM2x** : 総合 4 位 (出漕 14 クルー)

B 成瀬瑤太郎(加茂高)、S 扇原優(慶應義塾高)

・ **JW2x** : 総合 4 位 (出漕 10 クルー)

B 中島真央(成立学園高)、S 志賀祐月(美方高)

・ **JW1x** : 総合 7 位 (出漕 13 クルー)

飯塚百合子(立教大学)

4. 参加審判員

President of the Jury

SIU Kin Wah (HKG) 1229

Members

LIU De Hai (CHN) 1504

CHEUNG Kwok Keung (HKG) 1626

LO Tze Yang (HKG) 1732

WONG Hang Tim (HKG) 1519

KARMAKAR Rupam (IND) 1538

KHOSRAVANIAN Maryam (IRI) 1668

KUMAMOTO Koji (JPN) 1371

NARITA Yasuhisa (JPN) 1793

YAMAZAKI Kanako (JPN) 1782

KIM Jeongah (KOR) 1842

HTAY Yin Min (MYA) 1706

KHAH Imtiaz (PAK) 1195



Technical Delegate

KAY Dong Hoon

(KOR) 1635



5. 会場施設

【艇庫棟】 タイ海軍の既存施設を利用



【コース全景】 2000M (整地された伴走路なし)







【スタートエリア】



【フィニッシュエリア】



【計量 (選手・艇)】



## 6. レースにおける特記事項

12月のタイは、日本の夏に匹敵するほど気温が高く、特に日中は、日差しも強くなるため午前は8時30分開始、午後は14時00分開始のレーススケジュールが組まれました。照明施設は、無いため日没までの終了も必要でした。



日中気温は38.1度となっていました

### (1) レース使用艇について

艇を自国で用意していない参加国用には、日本国内での使用頻度が多い、「Swift Racing」製の艇がレンタル用として準備されていました。

### (2) ステッカー配置相違について

本大会では、艇に貼り付ける「asian rowing」と「国名コード（JPN等）」が1枚のステッカーとなっていました。そのため、バウサイド用とストロークサイド用があり、それらを正確に艇に貼り付ける必要がありましたが、そのことがクルーに十分に説明されずに配布されたため、その標示が規定に反しているクルーが多数、発生しました。

出艇桟橋の監視において、これらを確認して、その是正を求めましたが、ステッカーの余分がなく、已む無くその状況での出艇を認めることになりました。

通常、World Rowingの大会では、world rowingと国名コードのステッカーが別々のシートになっており、規定の順番と異なっている場合には、張り替え等が比較的容易にできるものとなっています。



(誤) 国名が先になっている



(正) 国名が後にある





### (3) スタートシステム及びスタートハットについて

スタートシステムは、IMASのシステムが用意されておき、スタート信号と連動して、フォトフィニッシュの記録システムが稼働することになっていました。

前日のプラクティススタートでは十分に稼働していましたが、大会初日に、システムに不具合が発生して、使用ができなくなりました。

午後には使用できるよう対応すると説明を受け、「旗発艇」に切り替え対応レースを実施しました。しかし、その後も、最終日までシステムが直ることはありませんでした。

さらに、スタートタワーは、従来使用していたビニールタイプから鉄板で四方を囲んだタイプに建替えられていました。雨風が十分にしのげるようになった一方で、各部署と連絡をとる無線の電波状態にも影響が発生したため、現地スタッフのスマホにてスタート号令をフィニッシュ部署に送信する手段を使用しました。

### (4) 韓国と日本 練習エリアにおける衝突について

JW4x 予選時に日本クルーと韓国クルーがスタートエリアに到着しない状況が発生しました。詳細は不明でありましたが、「リガーが曲がったので栈橋に戻りたい」との連絡あり、レース順を組換え対応することにしました。

その後、状況を確認すると、日本クルーは、レース時間になるまで練習水域で漕いでいたのですが、艇の方向を変える地点で、航行ルールを勘違いした韓国が追突してきた。そのため、日本クルーのバウのオールが折れ、艇にも損傷が発生し、韓国クルーもオールが折れました。幸い、両クルーに怪我はありませんでした。

練習エリアに配置されていた救助艇からも遠い位置であったため、状況把握もできず、連絡がとても遅くなったようです。

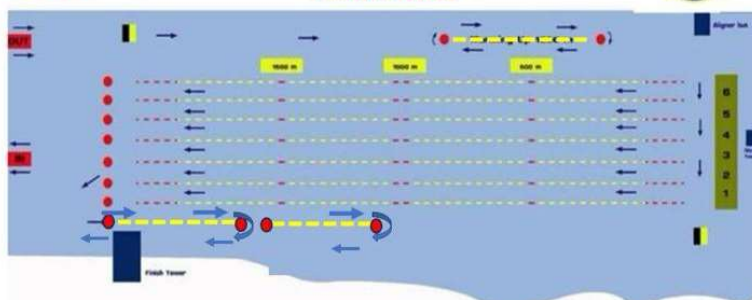
その後、日本チームは、代替オールにてレースに出場し見事に2位入賞となりました。



ASIAN ROWING U19&U23 CHAMPIONSHIPS 2023

ASIAN ROWING MASTER REGATTA 2023

Traffic Rules



## (5) マスターズのレース運営について

マスターズは、1000M レースになるため、スタートエリアにプラスチック製フロートを連結したポンツーンを運んできて対応しました。この対応は、とても合理的で個別のボートホルダータイプよりも安全面や連絡の連携面も高いと思われました。(艇種ごとにレース距離が若干異なることにはなりますが)

しかし、マスターズの運営では、混乱することが多数ありました。レース前日までクルーのエントリーを受け付けていたことから、出場選手に対して艇が不足している状況が発生しました。

例えば M2x の 4 杯レースに艇の準備は 2 艇といった具合です。さらに、ダブルエントリーをしている選手も多数いました。選手が待機しているのに艇がない、艇があるのに選手は水上でレースをしているなど、特に監視やスタートはとても混乱し、レースの組み直しを繰り返すこととなり、TD (Technical Delegate・技術代表) は、疲労困憊の状況でした。

また、安全面から、日没までにレースを終了させることが求められていましたが、なんとか、最後のレースを終えることができました。

次の開催では、エントリー期限や艇の準備等、運営面での改善が必要と思います。



## 7. 終わりに

アジアでの競技大会はここ数年キャンセルが続いており、今回のアジアジュニア・U23・マスターズ大会も日本・中国でキャンセルになった大会でした。タイ NF がかわりに引き受けてくれたことにより、開催することができました。

最後になりましたが、本大会審判派遣に際し、ご尽力いただきました関係各位に感謝申し上げます。

以上